

SD メモリーカードの録画設定・再生方法について

- ・本書では、SDメモリーカードへの録画設定・再生方法と制約事項などについて説明します。
- ・お使いの機種によっては、説明の画面とカメラの画面が異なる場合があります。
- ・本書は以下の機種を対象にしています（2014年11月現在）。

WV-SFV631L、WV-SFV631LT、WV-SFV611L、WV-SFN631L、WV-SFN611L、WV-SPN631、
WV-SPN611、WV-SPW631LTJ、WV-SPW631LJ、WV-SPW611LJ、WV-SPW611J
WV-SPN531
WV-SFV311、WV-SFN311、WV-SFN310J、WV-SPN311、WV-SPN310V、WV-SPW310

もくじ

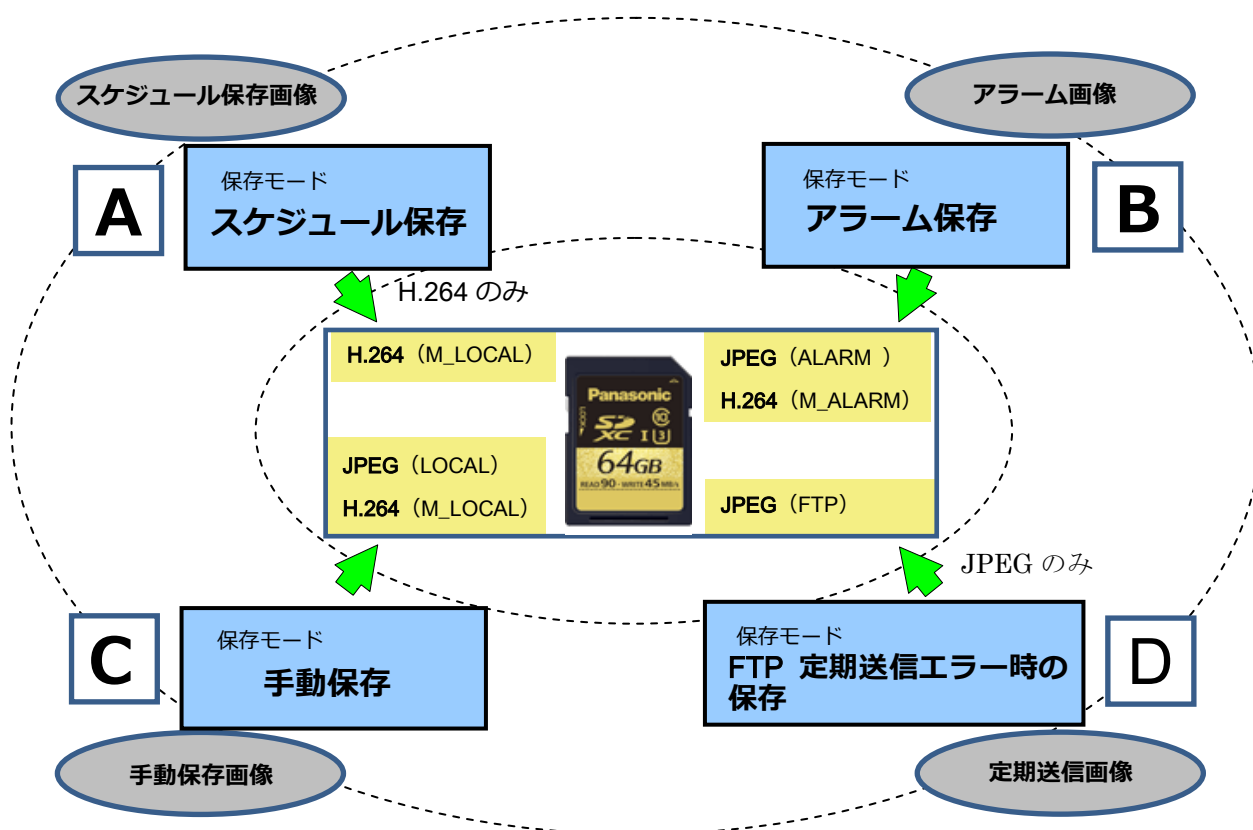
SDメモリーカードへの録画設定について	2
A スケジュール保存	3
B アラーム保存	6
C 手動保存	10
D F T P 定期送信エラー時の保存	12
SDメモリーカードからの録画画像再生方法	16

S Dメモリーカードへの録画設定について

- ・ S Dメモリーカードの保存モードの設定は、使用用途に対応して**4つの保存モード**が用意されています。
- ・ 保存モードは4つのうちのいずれか**最大2つまで**を同時に設定が可能です。（重複可能）
- ・ 保存モードは"録画ストリーム1"と"録画ストリーム2"の設定項目で選択しますが、使用できる圧縮方式には制約があります。（下図参照）

お知らせ

ダブルスロットのモデルでも、それぞれのS Dメモリーカードに保存モードを独立して設定することはできません。



画像用途とS D保存モードの関係

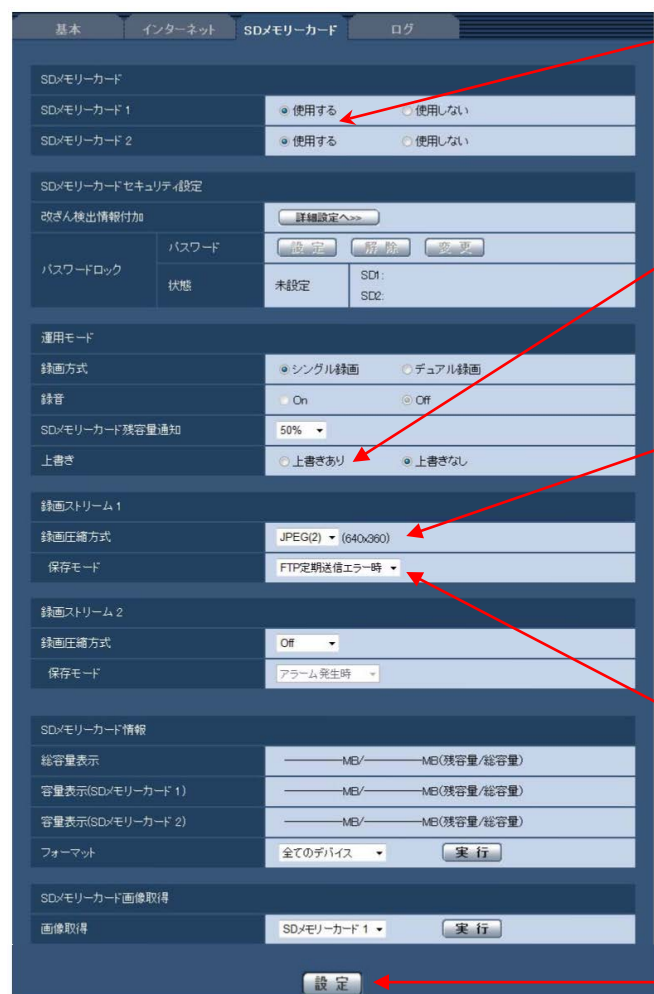
A スケジュール保存

曜日、時間の指定に従って録画を行う場合です。

設定メニュー	【基本】	【カメラ】	【スケジュール】
タブ	S Dメモリーカード	JPEG/H.264	スケジュール
設定内容	圧縮方式、保存モードなど	解像度、画質など	録画日時など

最初にライブ画面から「設定」に切り替えて設定メニュー「基本」の「S Dメモリーカード」タブを開きます。

1) 「S Dメモリーカード」タブの設定例



① S Dメモリーカードの「使用する」を選択して設定ができるようにします。

② 「上書きあり」／「上書きなし」を設定します。記録可能な容量に最新画像を常に更新して記録するので、例では「上書きあり」とします。

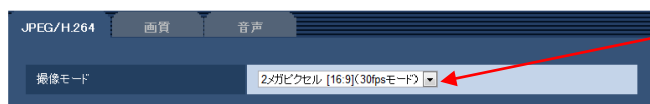
③ スケジュール保存での圧縮方式は H.264に限られます。ここでは「H.264(2)」を使用するものとします。録画ストリーム1、2のどちらも使用可能ですが、ここでは例として録画ストリーム1を使用するものとします。

④ 「保存モード」から「スケジュール保存」を選択します。

お知らせ
圧縮方式がH.264に設定されていないと、プルダウンメニューに「スケジュール保存」が表示されません。

⑤ これらの設定を確定させるために「設定」ボタンをクリックします。

次に 設定メニュー「カメラ」の「J P E G / H . 2 6 4」タブを開きます。



①「撮影モード」の設定を行います。
ここでは例としてアスペクト比が [4 : 3] のモードを選択します。



②「撮影モード」を確定させるために「設定」ボタンをクリックします。

以降、「H.264(2)」の設定を行います。



③「解像度」の設定を行います。
ここでは例として [VGA] とします。

④「配信モード」の設定を行います。
ここでは例として [フレームレート指定] とします。

⑤「フレームレート*」の設定を行います。
ここでは例として [5 fps*] とします。

⑥「1クライアントあたりのビットレート」の設定を行います。
ここでは例として [384 kbps*] とします。

お知らせ

高いビットレートを設定すると録画時間が短くなります。ビットレートと録画時間の関係の詳細は以下の URL を参照ください。

<http://panasonic.biz/security/support/info.html>

⑦「リフレッシュ間隔」の設定を行います。
ここでは例として [1 s] とします。

⑧ これらの設定を確定させるために「設定」ボタンをクリックします。

お知らせ

この設定で 64GB のメモリーカードを使用した場合の録画時間はおよそ 12 日です。

さらに設定メニュー「スケジュール」を開きます。

3) 「スケジュール」タブの設定例

- ①「動作モード」の設定を行います。
ここでは例として「SD録画1」とします。

お知らせ

- ・録画ストリーム1を録画したい場合は「SD録画1」を、録画ストリーム2を録画したい場合は「SD録画2」を選択します。
- ・各設定はそのまま、スケジュールの「動作モード」を「OFF」にして設定ボタンをクリックするとSDメモリーカードへの録画が停止します。

- ②曜日の設定を行います。
ここでは例として毎日を設定します（すべての曜日にチェックをします）。

- ③録画する時間帯の設定を行います。
ここでは例として24時間とします（「24h」にチェックをします）。

- ④これらの設定を確定させるために「設定」ボタンをクリックします。

- ⑤タイムバーが表示されたことを確認します。

お知らせ

現在時刻が録画する時間帯内にある場合、ライブ画面の右上のSD REC ランプが赤点灯します。

B アラーム保存

アラームが発生したときに、自動的に録画を行う場合です。
端子／動作検知／コマンドなどのアラームに対応できます。

設定メニュー	【基本】	【カメラ】	【アラーム】	【スケジュール】
タブ	S Dメモリーカード	JPEG/H.264	動作検知	スケジュール
設定内容	圧縮方式、保存モードなど	解像度、画質など	検知エリア、感度など	動作検知日時など

※動作検知アラームの発生で、S Dメモリーカードに画像を録画する場合の設定例を示します。

最初にライブ画面から「設定」に切り替えて設定メニュー「基本」の「S Dメモリーカード」タブを開きます。

1) 「S Dメモリーカード」タブの設定例

① S Dメモリーカードの【使用する】を選択して設定ができるようにします。

② 【上書きあり】／【上書きなし】を設定します。記録可能な容量に最新画像を常に更新して記録するので、例では【上書きあり】とします。

③ アラーム保存での圧縮方式は H.264/JPEGのいずれかを選択できます。ここでは例として、連続した静止画を記録する目的で「JPEG(2)」とします。

④ 「保存モード」から【アラーム発生時】を選択します。

お知らせ

④の操作により、JPEGの場合は保存間隔の選択項目が、H.264の場合はプレアラーム／ポストアラームの時間設定の選択項目が表示されます。

③で「JPEG」を選択した場合

③で「H.264」を選択した場合

⑤ 「ポストアラーム保存間隔」と「保存枚数」を設定します。ここでは例として【1 fps】(1秒に1枚)、「100枚」とします。

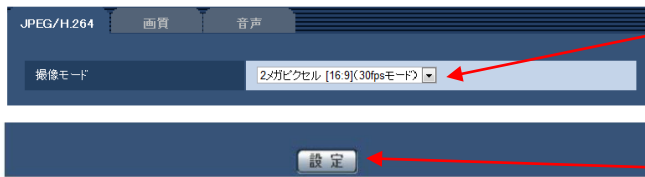
お知らせ

H.264の場合はポストアラーム時間(秒単位)を設定します。

⑥ これらの設定を確定させるために「設定」ボタンをクリックします。

次に 設定メニュー「カメラ」の「J P E G / H . 2 6 4」タブを開きます。

2) 「J P E G / H . 2 6 4」タブの設定例



①「撮影モード」の設定を行います。
ここでは例としてアスペクト比が [4 : 3] のモードを選択します。

②「撮影モード」を確定させるために「設定」ボタンをクリックします。

以降、「JPEG(2)」の設定を行います。



③「解像度」の設定を行います。
ここでは例として [VGA] とします。

お知らせ

高い解像度に設定すると録画時間(枚数)が短くなります。

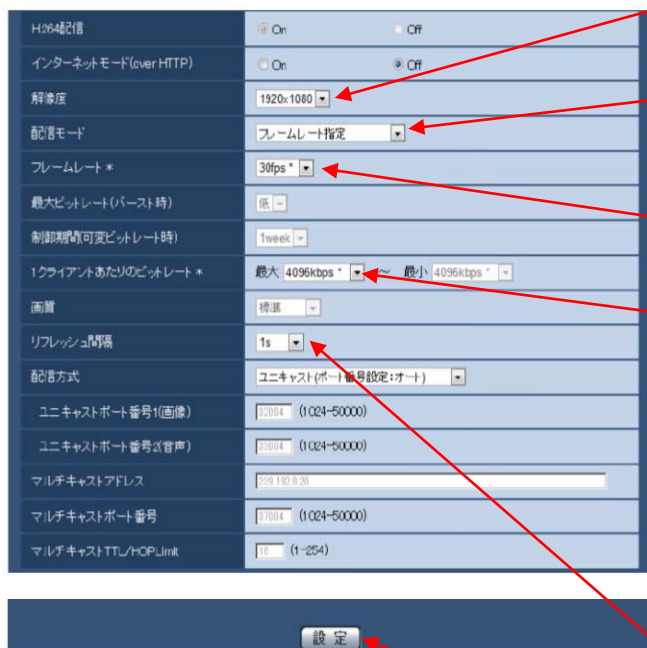
④「画質」の設定を行います。
ここでは例として [5 標準] とします。

お知らせ

高画質に設定すると録画時間(枚数)が短くなります。

⑤これらの設定を確定させるために「設定」ボタンをクリックします。

圧縮方式がH.264の場合



③「解像度」の設定を行います。
ここでは例として [VGA] とします。

④「配信モード」の設定を行います。
ここでは例として [フレームレート指定] とします。

⑤「フレームレート」の設定を行います。
ここでは例として [15 fps*] とします。

⑥「1クライアントあたりのビットレート」の設定を行います。
ここでは例として [512 kbps*] とします。

お知らせ

高いビットレートを設定すると録画時間が短くなります。ビットレートと録画時間の関係の詳細は以下の URL を参照ください。

<http://panasonic.biz/security/support/info.html>

⑦「リフレッシュ間隔」の設定を行います。
ここでは例として [1 s] とします。

⑧これらの設定を確定させるために「設定」ボタンをクリックします。

次に 設定メニュー「アラーム」の「動作検知エリア」タブを開きます。

3) 「動作検知」タブの設定例



①検知エリアの設定を行います。

画像上でマウスをドラックして検知したいエリアに枠を設定します。
白枠で囲まれた部分に画像の変化が発生した場合に、SD録画をスタートさせます。

お知らせ

検知エリアの設定を修正するには、該当の枠の「削除」ボタンを押して、一度削除してからやり直します。

②「状態」を「有効」にします。

お知らせ

検知エリアの設定をすると自動で「有効」になります。

③必要に応じて「検出面積」、「検出感度」の設定を行います。

お知らせ

小さな検出面積や高い感度に設定すると、動作検知が敏感になり、録画時間が短くなる場合があります。

④これらの設定を確定させるために「設定」ボタンをクリックします。

さらに設定メニュー「スケジュール」を開きます。

4) 「スケジュール」タブの設定例

スケジュール

スケジュール	動作モード	スケジュール
スケジュール1 (日)	動作モード: OFF	スケジュール: 月 火 水 木 金 土 日 24h 00 ~ 00 ~ 00 ~ 00 ~
スケジュール2 (月)	動作モード: OFF	スケジュール: 月 火 水 木 金 土 日 24h 00 ~ 00 ~ 00 ~ 00 ~
スケジュール3 (火)	動作モード: OFF	スケジュール: 月 火 水 木 金 土 日 24h 00 ~ 00 ~ 00 ~ 00 ~
スケジュール4 (水)	動作モード: OFF	スケジュール: 月 火 水 木 金 土 日 24h 00 ~ 00 ~ 00 ~ 00 ~
スケジュール5 (木)	動作モード: OFF	スケジュール: 月 火 水 木 金 土 日 24h 00 ~ 00 ~ 00 ~ 00 ~

	0:00	6:00	12:00	18:00	24:00
月					
火					
水					
木					
金					
土					
日					

設定

①「動作モード」から「動作検知許可」を選択します。

お知らせ

各設定はそのまま、スケジュールの「動作モード」を「OFF」にして「設定」ボタンを押すと動作検知は停止します。

②曜日の設定を行います。

ここでは例として毎日を設定します（すべての曜日にチェックをします）。

③録画する時間帯の設定を行います。

ここでは例として24時間とします（「24h」にチェックをします）。

④これらの設定を確定させるために「設定」ボタンをクリックします。

⑤タイムバーが表示されたことを確認します。

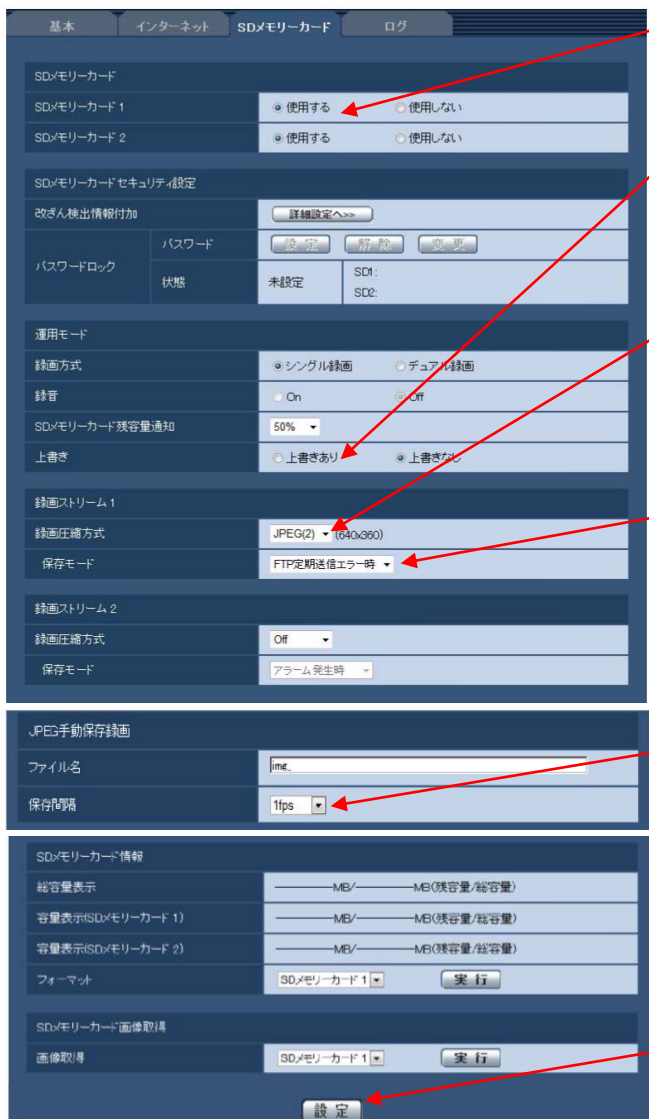
C 手動保存

ライブ画像を確認しながら、ブラウザーのSD保存の「開始」「停止」ボタン操作によって手動で録画を行う場合です。

設定メニュー	【基本】	【カメラ】
タブ	SDメモリーカード	JPEG/H.264
設定内容	圧縮方式、保存モードなど	解像度、画質など

最初にライブ画面から「設定」に切り替えて設定メニュー「基本」の「SDメモリーカード」タブを開きます。

1) 「SDメモリーカード」タブの設定例



① SDメモリーカードの「使用する」を選択して設定ができるようにします。

② 「上書きあり」／「上書きなし」を設定します。記録可能な容量に最新画像を常に更新して記録するので、例では「上書きあり」とします。

③ 手動保存での圧縮方式は H.264/JPEGのいずれかを選択できます。ここでは例として、連続した静止画を記録する目的で「JPEG(2)」とします。

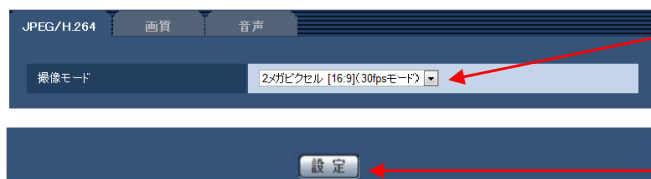
④ 「保存モード」から「手動保存」を選択します。

⑤ 「保存間隔」を設定します。ここでは例として「1fps」(1秒に1枚)とします。

⑥ これらの設定を確定させるために「設定」ボタンをクリックします。

次に 設定メニュー「カメラ」の「J P E G / H . 2 6 4」タブを開きます。

2) 「J P E G / H . 2 6 4」タブの設定例



- ①「撮像モード」の設定を行います。
ここでは例としてアスペクト比が [4 : 3] の
モードを選択します。
- ②「撮像モード」を確定させるために「設定」
ボタンをクリックします。

以降、「JPEG(2)」の設定を行います。

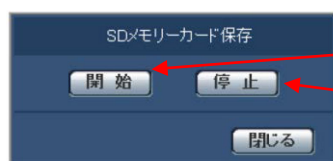


- ③「解像度」の設定を行います。
ここでは例として [VGA] とします。
- お知らせ**
高い解像度に設定すると録画時間(枚数)が短く
なります。
- ④「画質」の設定を行います。
ここでは例として [5 標準] とします。
- お知らせ**
高画質に設定すると録画時間(枚数)が短くなり
ます。
- ⑤ これらの設定を確定させるために「設定」ボタン
をクリックします。

お知らせ
この設定で 64GB のメモリーカードを使用した場合
の録画時間はおよそ 8 日です。

ライブ画の左下に表示される [S D] ボタンをクリックすると、「SDメモリーカード保存画面」が別ウインドウで表示されます。

3) 手動保存の操作方法



- ① [開始] ボタンをクリックして手動保存を開始
します。
- ② [停止] ボタンをクリックして手動保存を停止
します。

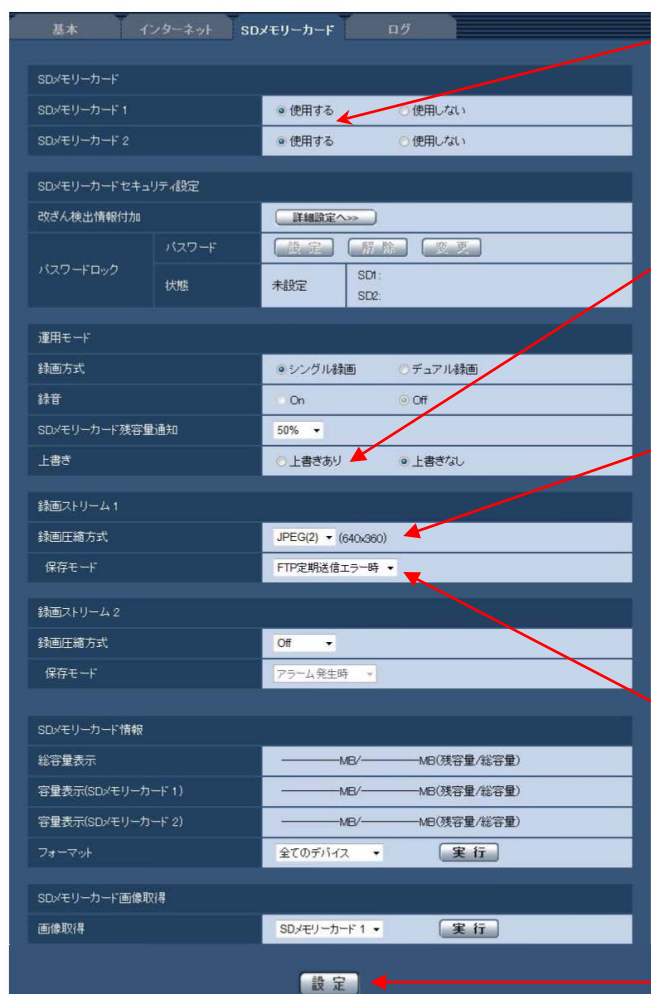
D F T P 定期送信エラー時の保存

定期送信による F T P での送信ができなかったときに S D メモリーカードへの保存を行う場合です。

設定メニュー	【基本】	【カメラ】	【ネットワーク】	【スケジュール】
タブ	S D メモリーカード	JPEG/H.264	アドバンス	スケジュール
設定内容	圧縮方式、保存モードなど	解像度、画質など	FTP設定・送信間隔など	定期送信日時など

最初にライブ画面から「設定」に切り替えて設定メニュー「基本」の「S D メモリーカード」タブを開きます。

1) 「S D メモリーカード」タブの設定例



① S D メモリーカードの「使用する」を選択して設定ができるようにします。

② 「上書きあり」／「上書きなし」を設定します。記録可能な容量に最新画像を常に更新して記録するので、例では「上書きあり」とします。

③ FTP定期送信エラー時の保存での圧縮方式は JPEGに限られます。ここでは「JPEG(2)」を使用するものとします。JPEGは録画ストリーム1のみ使用可能なので、録画ストリーム1を使用します。

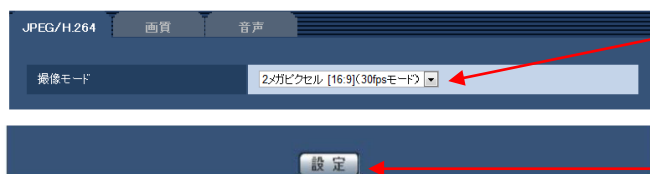
④ 「保存モード」から「FTP定期送信エラー時」を選択します。

お知らせ
圧縮方式がJPEGに設定されていないと、プルダウンメニューに「FTP定期送信エラー時」が表示されません。

⑤ これらの設定を確定させるために「設定」ボタンをクリックします。

次に 設定メニュー「カメラ」の「J P E G / H . 2 6 4」タブを開きます。

2) 「J P E G / H . 2 6 4」タブの設定例



- ①「撮影モード」の設定を行います。
ここでは例としてアスペクト比が [4 : 3] のモードを選択します。
- ②「撮影モード」を確定させるために「設定」ボタンをクリックします。

以降、「JPEG(2)」の設定を行います。



- ③「解像度」の設定を行います。
ここでは例として [VGA] とします。
- お知らせ**
高い解像度に設定すると録画時間(枚数)が短くなります。
- ④「画質」の設定を行います。
ここでは例として [5 標準] とします。
- お知らせ**
高画質に設定すると録画時間(枚数)が短くなります。
- ⑤ これらの設定を確定させるために「設定」ボタンをクリックします。

次に 設定メニュー「ネットワーク」の「アドバンス」タブを開きます。

3) 「アドバンス」タブの設定例

ネットワーク | アドバンス

SMTP(メール) | **FTP** | UPnP | HTTPS | DDNS | SNMP | Diffserv

FTP

アラーム画像送信 ☐ On ☒ Off

ディレクトリー名

ファイル名

ポストアラーム 画像更新速度 1fps 画像枚数 100枚 録画時間 100s

解像度 JPEG(2) (640x360)

FTP定期送信

定期送信 ☐ On ☒ Off

ディレクトリー名

ファイル名 ☒ ファイル名+日時 ☐ ファイル名を固定

送信間隔 1s

解像度 JPEG(2) (640x360)

FTPサーバーアドレス

ユーザー名

パスワード

コントロールポート番号 21 (1-65535)

モード ☒ パッシブモード ☐ アクティブモード

設定

①「FTP」を選択します。

②「FTP定期送信」、「FTPサーバーアドレス」の設定を行います。

お知らせ

- ・FTP 定期送信時の送信間隔と FTP 定期送信エラー時の録画間隔は同じです。
- ・「FTP 定期送信」の「解像度」を変更すると「SD メモリーカード」タブの FTP 定期送信エラー時の「録画圧縮方式」の設定も変更されます。

③これらの設定を確定させるために「設定」ボタンをクリックします。

さらに設定メニュー「スケジュール」を開きます。

4) 「スケジュール」タブの設定例

スケジュール

スケジュール	動作モード	スケジュール
スケジュール1 (白)	動作モード: OFF	スケジュール: 月 火 水 木 金 土 日
スケジュール2 (青)	動作モード: OFF	スケジュール: 月 火 水 木 金 土 日
スケジュール3 (緑)	動作モード: OFF	スケジュール: 月 火 水 木 金 土 日
スケジュール4 (赤)	動作モード: OFF	スケジュール: 月 火 水 木 金 土 日
スケジュール5 (黒)	動作モード: OFF	スケジュール: 月 火 水 木 金 土 日

0:00 6:00 12:00 18:00 24:00

月 火 水 木 金 土 日

設定

- ①「動作モード」から「FTP定期送信」を選択します。

お知らせ

各設定はそのまま、スケジュールの「動作モード」を「OFF」にして「設定」ボタンをクリックするとFTP 定期送信と同時にSDメモリーカードへの録画も停止します。

- ②曜日の設定を行います。
ここでは例として毎日を設定します（すべての曜日にチェックをします）。

- ③録画する時間帯の設定を行います。
ここでは例として24時間とします（「24h」にチェックをします）。

- ④これらの設定を確定させるために「設定」ボタンをクリックします。

- ⑤タイムバーが表示されたことを確認します。

お知らせ

FTP定期送信エラー時のSDメモリーカードへの録画状態をライブ表示で確認することはできません。ログリストで確認してください。

SDメモリーカードからの録画画像再生方法

1) 保存された画像をブラウザーで再生するには、ログリストを表示し、表示された時間をクリックします。



① [一覧/再生] ボタンをクリックします。

② ログリストから表示させたい日付時刻をクリックします。

お知らせ

[要因] の「選択」にチェックを入れ、その下のチェックボックスにチェックを入れることで要因別にログリストを表示させる事ができます。

2) ライブ画ページが再生ページに切り換わります。

お知らせ

- ・ [終了] ボタンをクリックするとライブ画ページに戻ります。
- ・ H.264画像再生時、スライダバー (①) を操作し、任意の位置から再生することができます。再生開始前、一時停止中、再生終了後のみ操作できます。

JPEG画像再生時の操作画面



H.264画像再生時の操作画面

